

道徳学習指導案

対象 第2学年

1 主題名 切りひらく人生 1- (3)

2 資料名 「ウィニング・パス」(「あすを生きる2」日本文教出版)

「先人のことばに学ぶ～論語」(「心みつめて」東京都教育委員会)

「先人のことばに学ぶ～福沢諭吉」(「心みつめて」東京都教育委員会)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

日常生活の中には、どうしたら良いかの判断を自らしなければならぬ場面がたくさんある。集団の中で常に自分自身の判断や選択を迫られる場面は多い。しかし、ともすると自分の意見や考えも無いままに、他の意見や考えに同調し全ての判断を任せてしまうことに何の違和感も抱かずにいる落とし穴もある。

この主題の指導を通して、自分や友だちの考えを深く考え、正しいのか誤っているのかの判断をしっかりと行い、自主的・自律的に行動する力を育てたい。

(2) 生徒の実態について

中学2年生の時期は、自我に目覚めると共に、自分でやってみないと気が済まない気持ちが大きくなる。分別もついてきて、何が正しく、何が誤りなのかを自問自答できるようになる。しかし、意志の弱さから集団の中で他人の言動に影響を受け、自分自身の言動が身勝手であるために、周囲を不快な気持ちにさせたり、相手の心を傷つけてしまったりすることもある。また、自分の失敗や誤りを招いたのは他人のせいだ、と責任転嫁する生徒もいる。生徒たちには、一つの行動をする前に、自分のことしか考えない自己中心的な自分になっていないかどうかを見つめさせたい。また、他の人のことを考えているか、自分の行動が周囲に与える影響について考えているかを問いかけさせ、責任ある言動がとれるよう指導したい。

(3) 資料について

障害のある主人公の姿と周りの人たちの姿を通して、理想社会の実現、思いやり、友情、また人間の弱さや気高さといった様々な道徳的価値が凝縮して描かれている。

導入に読む先人のことば「和して同ぜず」によって、本資料の内容と自分の姿をオーバーラップさせて自主とは何かを考えさせ、また終末に読む先人のことば「自由と我儘との界は、他人の妨げをなすとなさざるとの間にあり」によって、今の自分の置かれた環境や状況を振り返り考えさせたい。

4 本時の学習

(1) ねらい

自立の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行して結果に責任を持つ態度を育てる。

(2) 指導過程

	学習活動と○主な発問	・予想される生徒の反応	●教師の働きかけ ○指導上の留意点
導入	1 論語のことばについて、意味を知る。		●『君子は和して同ぜず、小人は同じて和せず』の一節であることを教え解説す

	<p>○「和して同ぜず」から、どんな教訓を得られるだろうか。</p>	<p>・友だちと協力することは大切だが、頼り過ぎてはいけない。</p> <p>・自分の考えを周りの意見に左右されないで通す。</p>	<p>る。</p> <p>●挙手、指名により発表させる。(T1)</p> <p>○「人生を切り拓くのは自分しかないけれど、そのためには何が必要なのかを考えて読み進めてみよう。」</p>
<p>展開</p>	<p>2 資料「ウィニング・パス」を読み、次のことについて考え、語り合う。</p> <p>発問①「健太が失禁した場面で、あなたが健太の立場だったら、または居合わせたとしたら、どんな思いになっただろうか？」</p> <p>発問②(中心発問)「健太はある事をきっかけにして、気持ちに変化が現れるが、どのように変わっていったのだろうか。また、それについてどう考えるか。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><小集団による語り合いと書く活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ワークシートに自分の考えを記入する。 2. 小集団による語り合いを行う。 3. 語り合いの後、再び自分の考えをワークシートに記入する。 <p><学級全体で考えを共有する></p> <p>数人が自分の考えを発表し、学級全体で語り合う。</p> </div>	<p>《健太の立場》</p> <p>・恥ずかしくていたたまれない。</p> <p>・落ち込む</p> <p>《居合わせた》</p> <p>・汚い</p> <p>・何か手助けしたい</p> <p>・慰めてあげたい</p> <p>・自分のことは自分で片付ける</p> <p>・誰も自分のつらさをわかってくれない</p> <p>・迎えに来てくれた友だちに顔を合わせるのがつらい</p> <p>・妹に辛い思いをさせてしまった</p> <p>・自分をもっと強くなりたいといけない</p> <p>・妹をばかにした奴を懲らしめてやる</p> <p>・人間として、みんなと同じなんだ</p> <p>・卑屈になっていたんだ</p>	<p>●資料名を黒板に貼る(T2)</p> <p>●資料を朗読する。(T2)</p> <p>●発問カードを黒板に貼る(T2)</p> <p>●挙手、指名により発表させる。(T1)</p> <p>●生徒の意見を板書する(T2)</p> <p>○過去に実際にあった出来事を紹介し、周囲の反応について深く考えさせる。</p> <p>●発問カードを黒板に貼る(T2)</p> <p>●小集団の語り合いに加わり、語り合いの内容を深める。(T1・T2)</p> <p>[補助発問]「正が、あえて同情したり慰めたりしなかったのは何故だろうか？」</p> <p>[補助発問]「正が『甘えてる』と言ったことばに、健太はどんな気持ちになったのだろうか。そして、健太はある事をきっかけにして気持ちに変化が現れるが、どのように変わっていったのだろうか。」</p> <p>[補助発問]「妹は普段の兄を、どのように感じているのだろうか」</p> <p>●挙手、指名により発表させる。(T1)</p> <p>●生徒の意見を板書する。(T2)</p> <p>[補助発問]「健太はなぜすっきりした気持ちになったのだろうか」</p>

終末	<p>3 福沢諭吉のことばに触れて、日頃の自分を考える。 「自由と我儘との界は、他人の妨げをなすとなさざるとの間にあり」</p> <p>4 今日の授業で感じたこと、考えたことを書き、発表する。</p>	<p>●福沢諭吉のことばを貼る。(T2) ○自分自身を振り返らせる。</p> <p>●数名の生徒を指名し、発表させる。(T1) ●ワークシートを回収する。(T1)</p>
----	--	---

(3) 評価の観点

- ・障害者だから許されるという甘えや考えを通して、「自主・自律」とは何かについて深く考えることができたか。
- ・自主的に考え、誠実に実行して、結果に対して責任を持つようとする態度を育てることができたか。

5 板書計画

<p>頑張りたい。</p> <p>・人の立場に立って考え行動できるように</p>	<p>日頃の自分を考えてみよう</p>	<p>福沢諭吉のことばに触れて</p> <p>自由と我儘の界は 他人の妨げをなすと なさざるとの間にあり</p>	<p>・妹に辛い思いをさせていたんだと気づいた</p> <p>・どうしてつらい気持ちを分かってくれないのか</p> <p>・ふてくされた</p>	<p>【語り合い】</p> <p>健太はある事をきっかけにして、気持ちに変化が現れるが、どのように変わっていったのだろうか</p>	<p>・身体障害者だから、大目に見てくれよ</p> <p>・恥ずかしくて、逃げてしまっ</p> <p>・とてもみじめだ</p>	<p>この場面になったら、どんな思い？</p>	<p>ウイニング・パス</p> <p>○小人… 器量や度量の小さい人</p> <p>○君子… 人格が立派な人</p>	<p>和して同ぜず 「論語」</p> <p>「君子は和して同ぜず、小人は同じて和せず」</p>
--	---------------------	--	--	---	---	-------------------------	--	---